



▲画像解析装置でモニターの写真撮影をする創業者の野澤一美さん。メーカーの商品開発データを集めるために、より多くのモニターが求められる。20才～70才までの男女を問わず、県民一人を目標としたモニター集めが同社の重要な戦略。メーカーによる安全性の確認がされたものでモニタリングはされるが、試用中は専門医のチェックを受けることになる。特に化粧品モニターには、きめ細やかな白い肌の秋田の女性のニーズが高い。最新コスメや日用品などを無料で試用でき、さらに謝礼金でもらうことができる。あなたもうれしいオタメシをしてみては？

秋田美人というキーワードで、秋田を起業の地に選んだ会社がある。平成7年に法制化された製造物責任法に伴い、メーカー側には高度なリスク確認と品質保証が求められている。化粧品の世界も例外でなく、メーカーは新商品を開発するに当たりその商品の安全性の確認がより必要となった。そのためにモニター(クリニカル)試験が有効な役割を果たすのだが、製造物責任の概念が早くから定着していた欧米の市場が圧倒的に強く、国内のメーカーは多くの試験を海外の試験受託機関(ラボ)に委

知りたい! 秋田 の とっておき

02

〈秋田市〉インターフェイス株式会社

秋田市山王3-1-1 秋田県庁第2庁舎3階 TEL.018-863-0003
E-mail:enatsuko@cna.ne.jp

色白できめ細やかな肌が特徴の
秋田美人が起業のキーワードに

託していたのが実状であった。

創業者の野澤一美さんは埼玉県出身。27歳で渡米し、世界中の化粧品メーカーからクリニカル試験を受託する研究所で働いていた。ラボの重要性と日本市場のニーズの高まりを予測し、日本での起業を模索していた。その野澤さんが「秋田美人」というキーワードに出会うことになる。

女性の皮膚色調の白色度は、西欧白人種が40・50%であるのに対し日本人の平均は22%、秋田県全般では29・62%、奥南地方に限定すると30・50%という調査データがみつ

米国での13年間の経験とノウハウを活かし、秋田の女性をモニターとした受託事業は、国内の化粧品メーカーに対して強い説得力をもち、受注へと繋がった。モニター試験の結果に基づいた商品が近々流通することになる。さらに、日本に既に大きな市場を持つ大手欧米メーカーからの受注も予定されている。秋田美人がビジネスチャンス! そうした夢のような話が現実のものになった。

提出された。美人が多いとされる北方系白人民族と混血・同化したという説もあるが、日照時間が少ないなど秋田独特の気候風土がそうした肌の特性を育んだにちがいない。

秋田の女性の肌の白さは際立っていたことは広く喧伝されていた。しかし、この調査が公表されることで、「秋田美人」は全国的にも知られる固有名詞となったのかもしれない。

秋田の女性が化粧品クリニカル試験に最適であるとともに、秋田美人という固有名詞がもつ全国的な認知度の高さ、インパクトの強さを認識したのが、野澤さんであった。

秋田出身の大学時代の友人から県の創業支援の情報を知ることになったが、秋田美人というキーワードにひらめきを感じ、秋田での起業を決意。昨年6月に会社を設立。創業支援補助金を受けるとともに、創業支援室への入居も可能となった。

あきた企業活性化センター 支援事業のお知らせ

ビジネスインキュベーション
総合支援事業(創業支援補助金)
新規創業する方に最高200万円を補助

県内に事業拠点を置き、優れたビジネスプランにより創業する方に対し、創業に要する経費と新規雇用に要する経費の一部を補助します。

【補助対象経費】

- 事業拠点費、人材育成費、宣伝広告費
- 補助対象経費の1/3以内で100万円が上限
- 人件費

補助対象経費の1/2以内で100万円が上限

【募集受付期間】

第2回/8月1日(水)～8月31日(金)

第3回/12月3日(月)～1月7日(月)

募集受付期間前であっても、計画書作成等に関する相談は随時受け付けています。

【財】あきた企業活性化センター

秋田市山王三丁目1-1

創業・経営革新推進担当

TEL.018-860-5702

FAX.018-863-2390

営業統括グループ

TEL.018-860-5609

FAX.018-860-5704

*秋田の女性の色白なことは広く知られていたが、科学的に立証してその説が有名になったのは、湯沢市の医師杉本元祐博士が数千人に及ぶ女子高校生を対象に調査した結果をまとめた研究成果を「文藝春秋」(1966年8月号収録)に発表したことによる。秋田大学名誉教授・新野直吉(「秋田美人の謎」(中公文庫)にその詳細が記載されている。また、同書は「秋田美人」を知る上で優れた著作として知られている。